

平成30年度 当初予算要求の概要

局・区名

会計室

要求総額

70

百万円

(対前年度予算 ▲ 11.8 %)

局区予算要求方針

会計室では、会計事務の適正かつ円滑な運営を目的として、その基盤となる財務会計システムを安定的かつ効率的に運用するため、運用管理の適正化・改善とともに、情報セキュリティ対策の強化に取り組んでいます。

資金運用においては、精度の高い緻密な資金計画をたてることにより、資金状況を的確に把握する一方、金融情勢を注視するなどリスク管理を徹底した上で、安定的かつより有利な運用に努め、歳入の強化を図っています。

また、これらの取り組みを行うとともに、支出の審査や会計事務の検査等を通じて、各所管の事務の一層の適正化・効率化に向けた指導・啓発を行います。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 市民の信頼に応える会計事務の適正な運営

- 会計事務の一層の適正化

取組内容 支出の審査や会計事務の検査のほか、会計事務研修、庁内ホームページでの啓発、事務マニュアルの改良等を通じて、各課職員の公金管理の重要性の理解やコンプライアンスの意識向上に努め、市政の信頼の向上をめざします。

2 資金運用による歳入の確保

- より有利な資金運用による歳入の確保

取組内容 精度の高い資金計画により、引き続き市の資金需要や収入状況を的確に把握します。さらに余剰資金については、安全性を確保した上でより有利な資金運用を行い、歳入の確保を図ります。